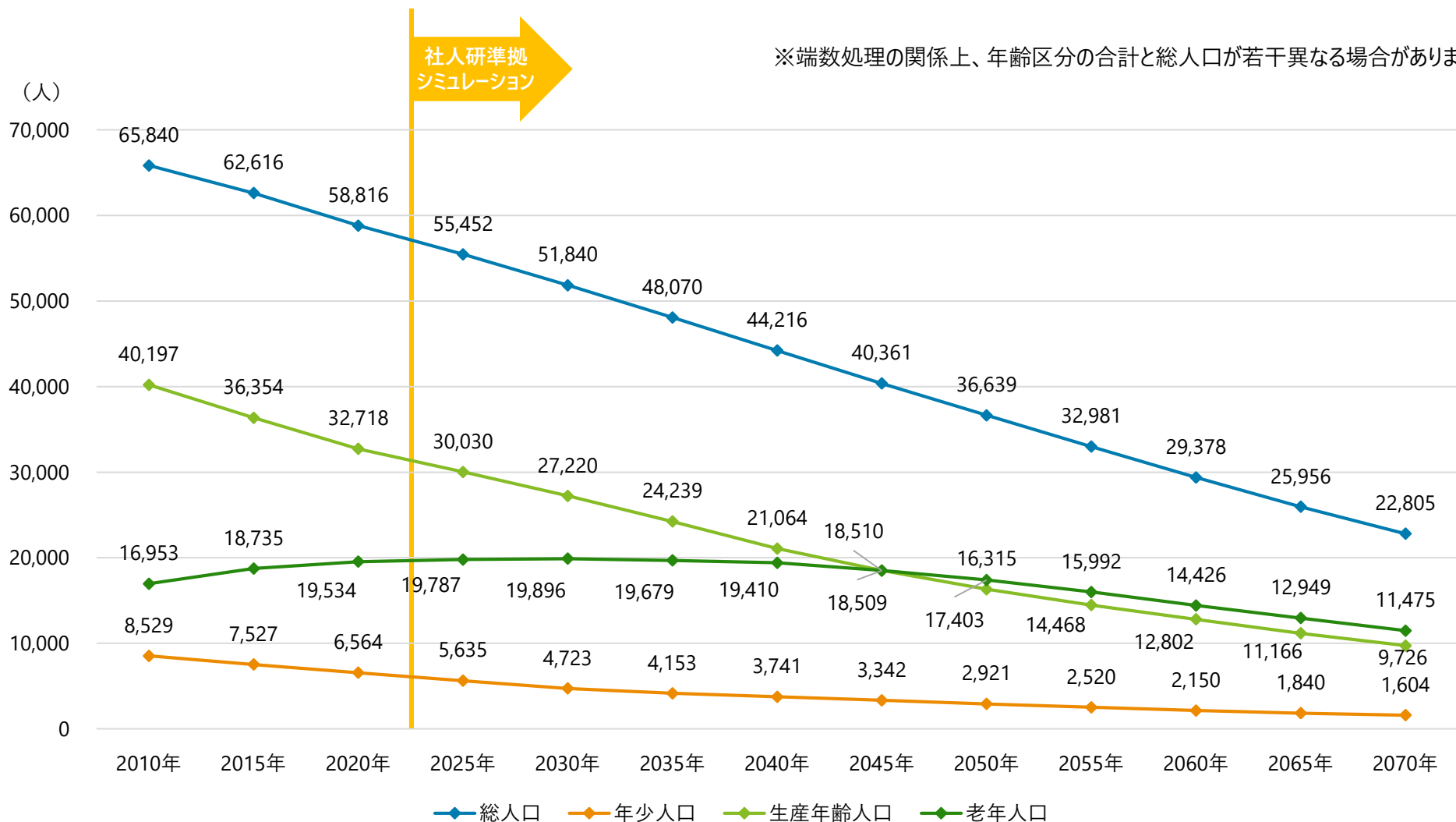


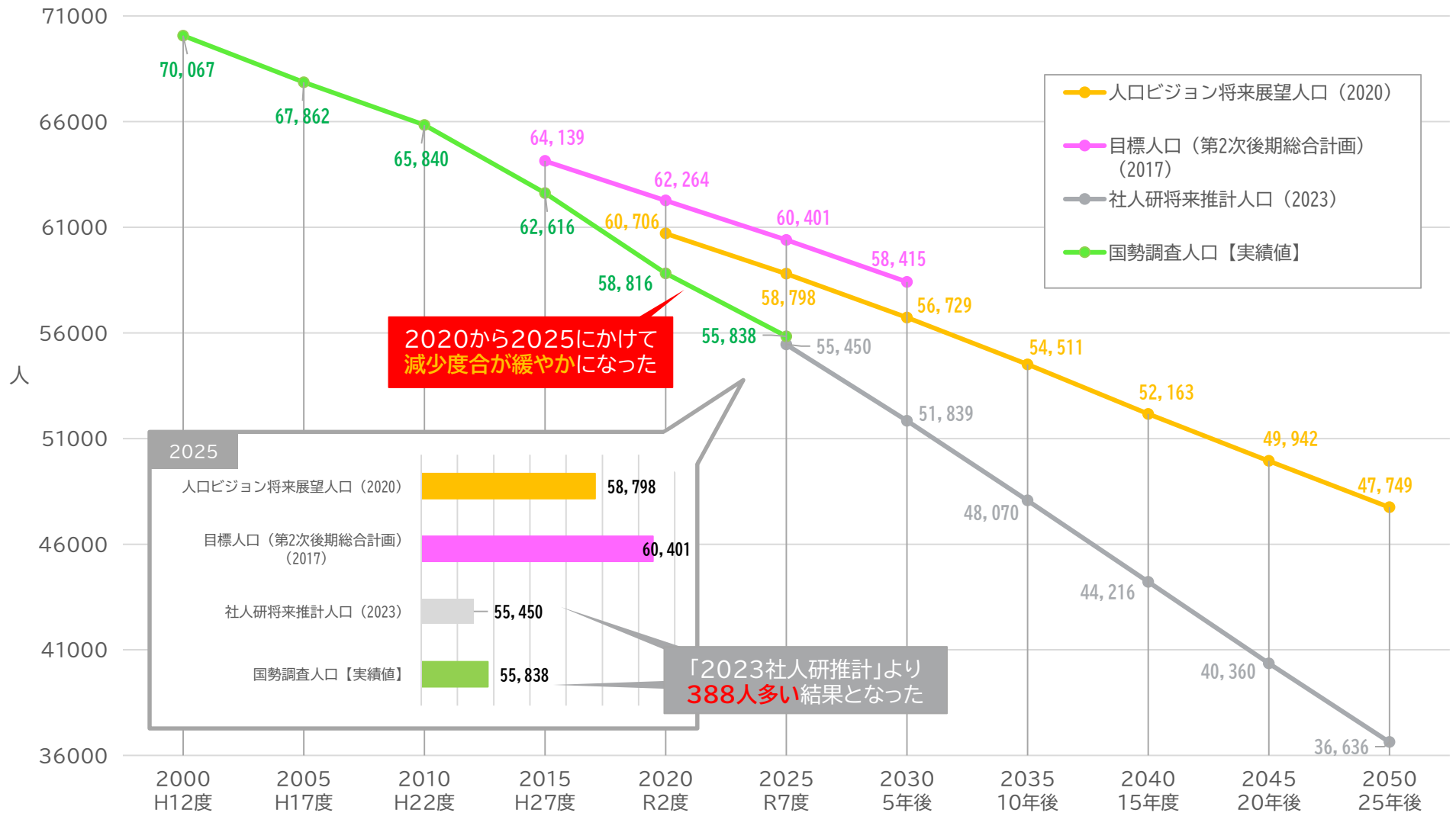
人口推移及び今後の見通し

1.総人口の推移・推計

国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠してシミュレーションを実施した結果、本市の総人口は、2035年に5万人を割り込み、今後、年少人口、生産年齢人口及び老年人口のいずれも減少の一途をたどる結果となりました。



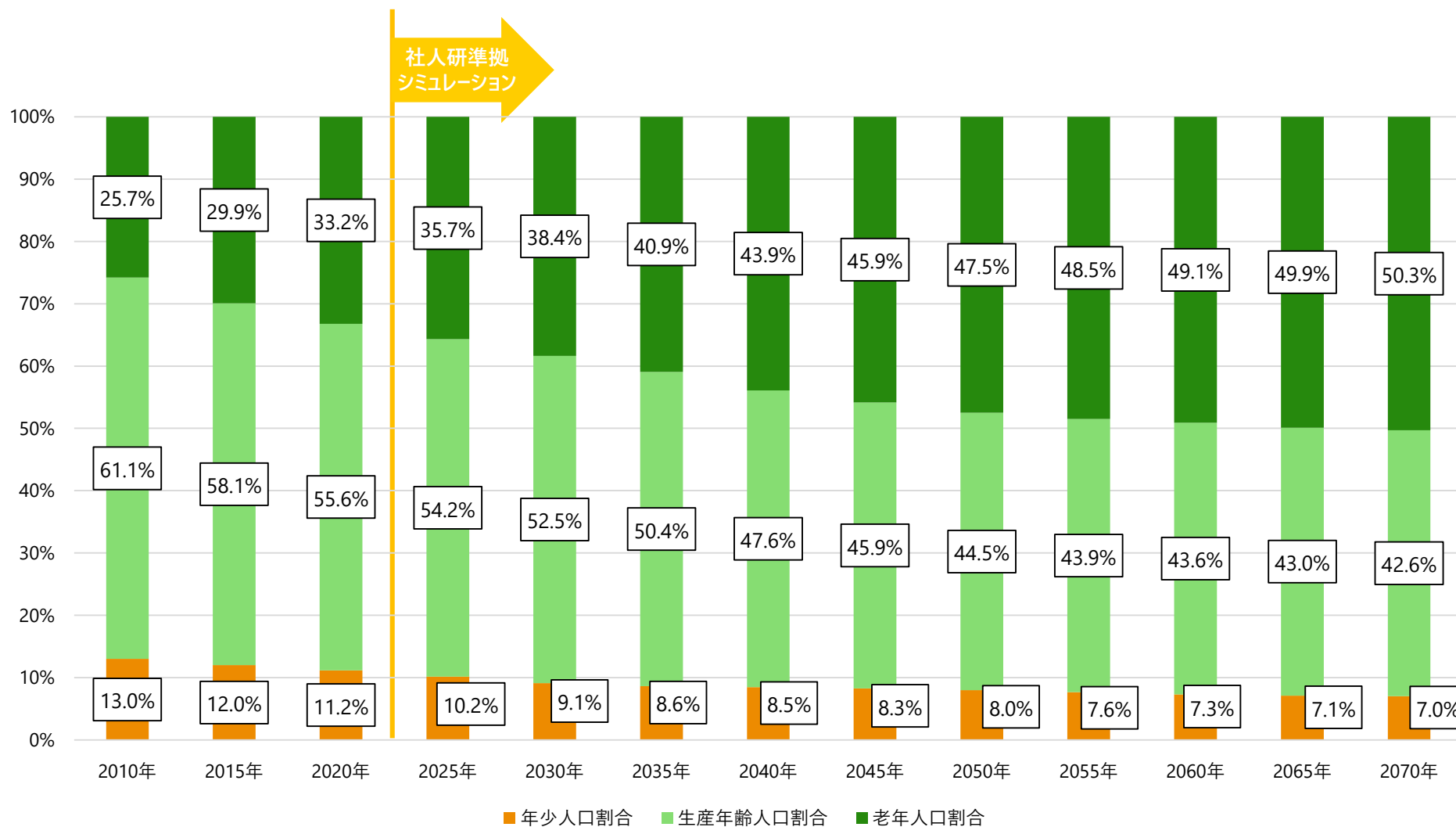
2. 国勢調査実績値と推計人口との比較



※国勢調査人口【実績値】における2025年度の55,838人は速報値

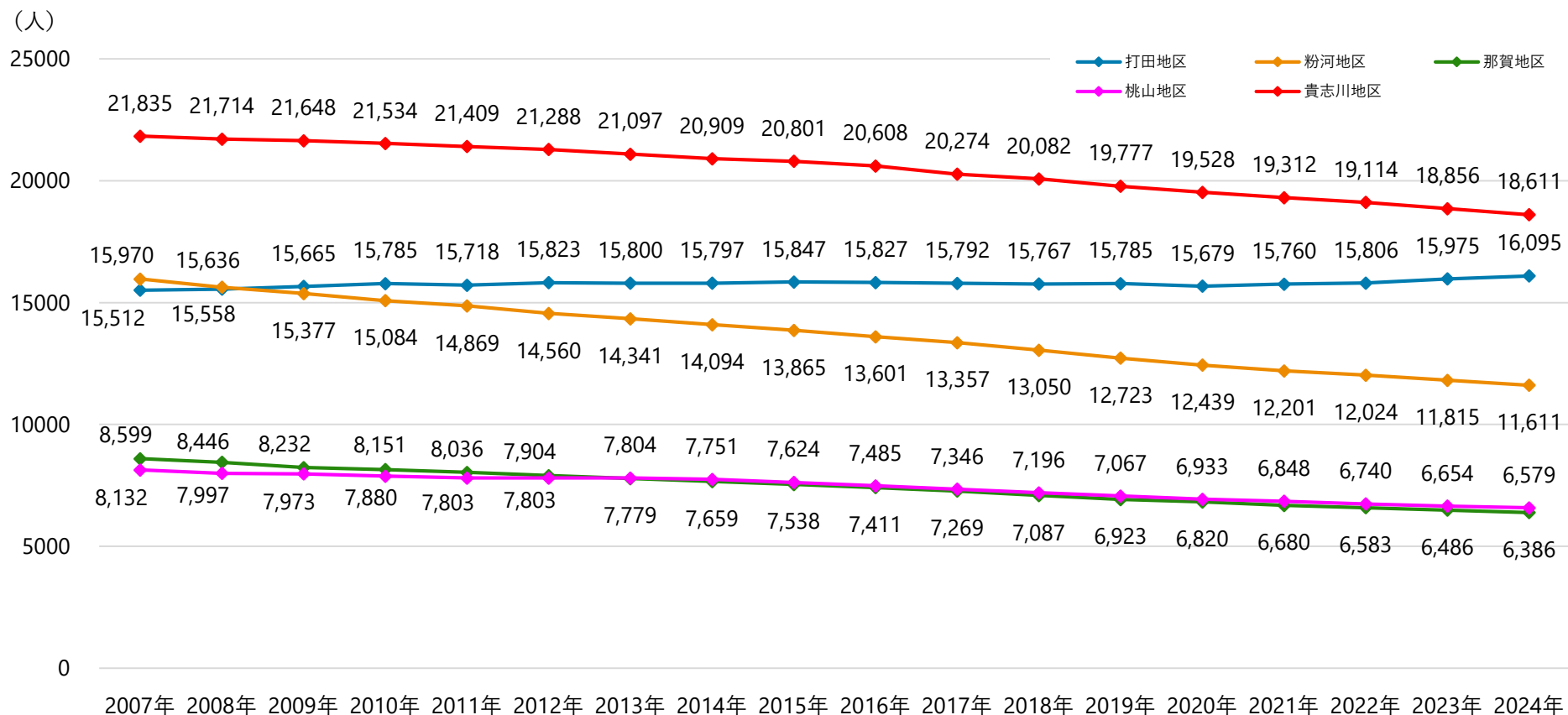
3.年齢3区分別人口の推計

国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠したシミュレーション結果によれば、老年人口の人口構成割合は増加する一方で、年少人口及び生産年齢人口の人口構成割合は減少することが見込まれます。



4.地区別人口の推移

打田地区は人口増加傾向が継続していますが、その他の地区では人口減少傾向が継続しており、市全体としては減少傾向が継続しています。

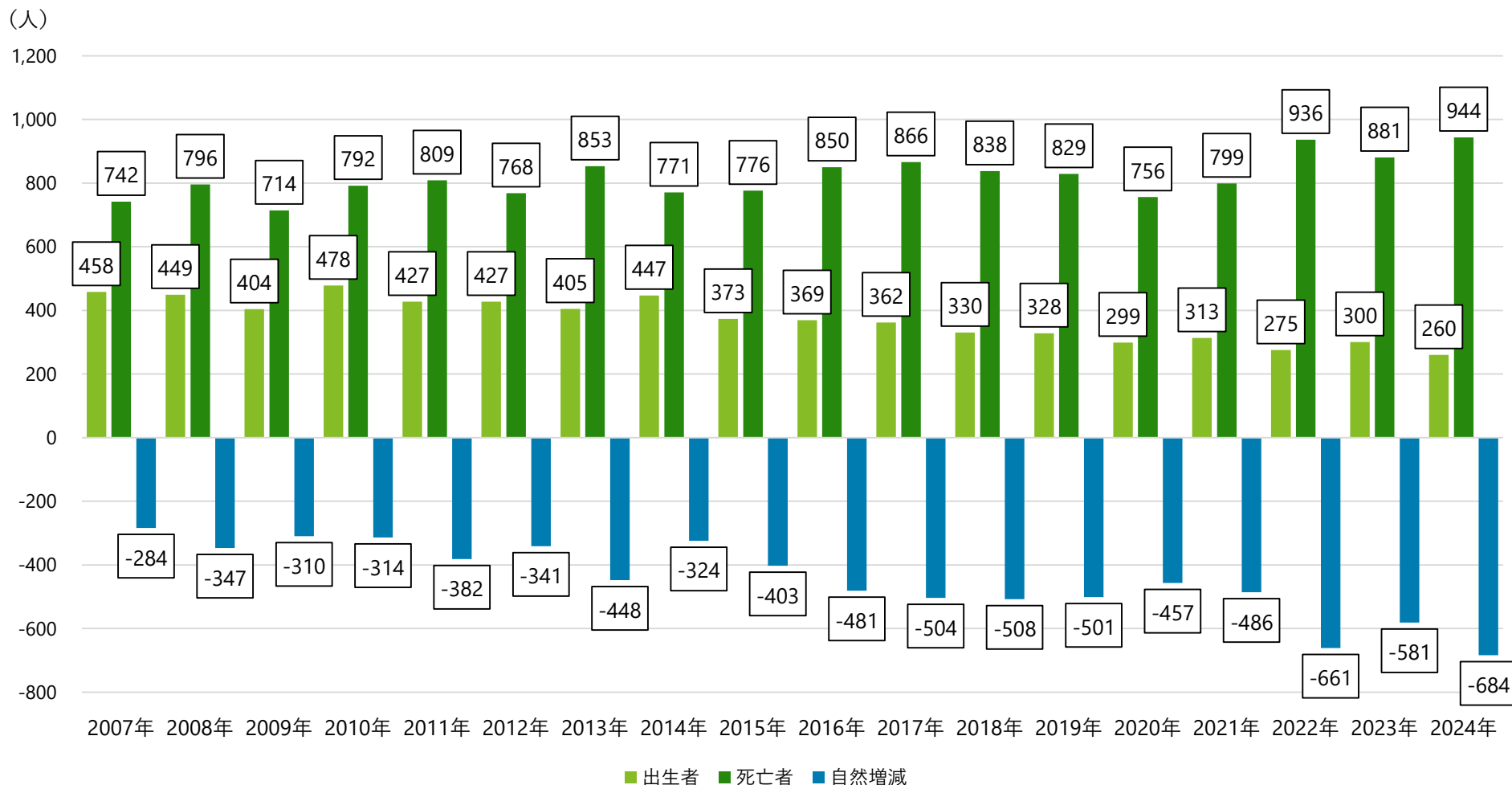


	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
打田地区	15,512	15,558	15,665	15,785	15,718	15,823	15,800	15,797	15,847	15,827	15,792	15,767	15,785	15,679	15,760	15,806	15,975	16,095
粉河地区	15,970	15,636	15,377	15,084	14,869	14,560	14,341	14,094	13,865	13,601	13,357	13,050	12,723	12,439	12,201	12,024	11,815	11,611
那賀地区	8,599	8,446	8,232	8,151	8,036	7,904	7,779	7,659	7,538	7,411	7,269	7,087	6,923	6,820	6,680	6,583	6,486	6,386
桃山地区	8,132	7,997	7,973	7,880	7,803	7,803	7,804	7,751	7,624	7,485	7,346	7,196	7,067	6,933	6,848	6,740	6,654	6,579
貴志川地区	21,835	21,714	21,648	21,534	21,409	21,288	21,097	20,909	20,801	20,608	20,274	20,082	19,777	19,528	19,312	19,114	18,856	18,611

(出典) 住民基本台帳

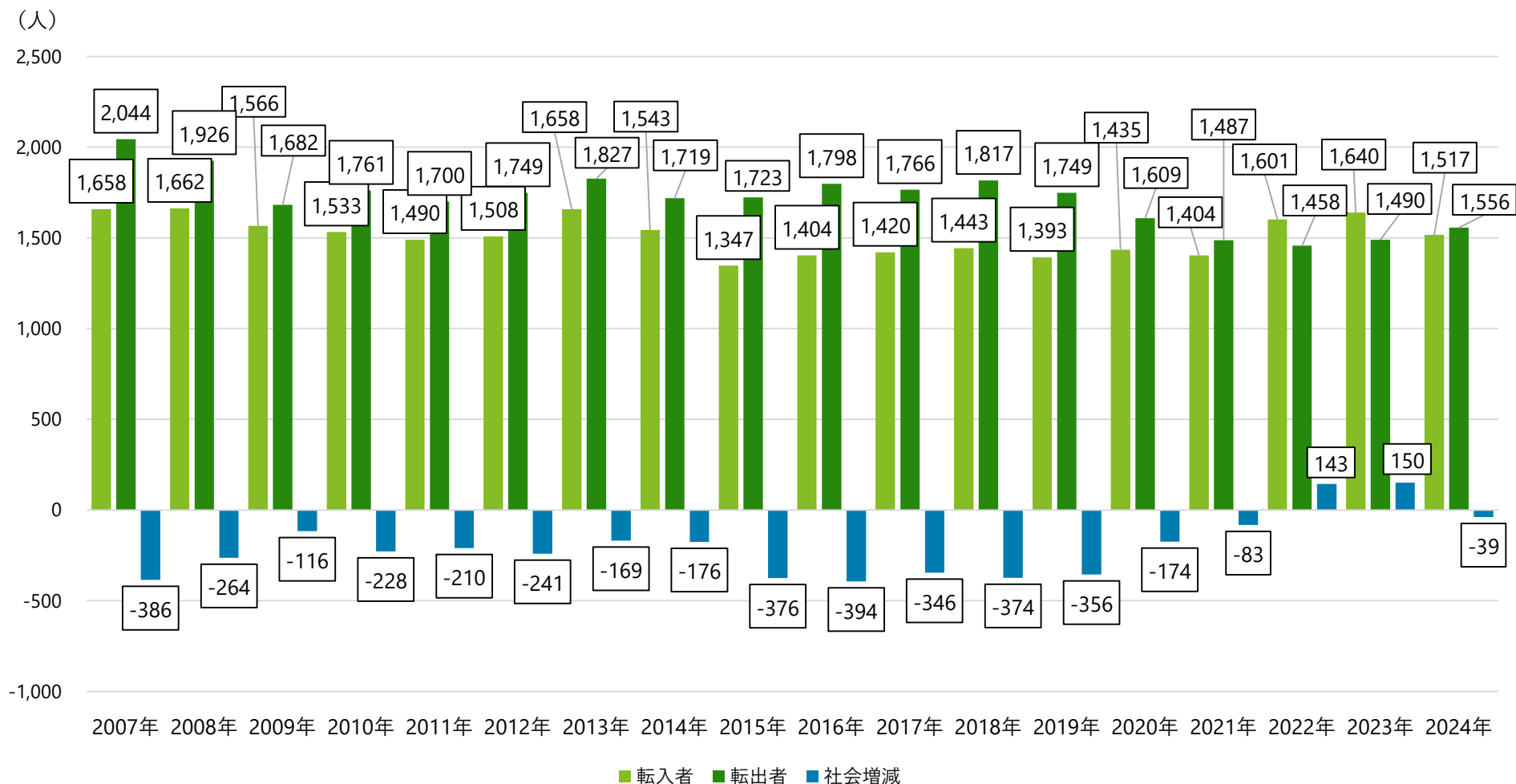
5.自然動態（出生・死亡）の推移

2007年以降、一貫して出生数を死亡数が上回り、自然動態に起因する人口減少が継続しています。2007年から2024年の間で自然動態の減少幅は拡大しています。



6.社会動態（転入・転出）の推移

2007年から2021年の間は一貫して転入を転出が上回る転出超過が継続していましたが、2020年以降は転出超過幅も減少傾向であり、2022年及び2023年は転入超過に転じています



7.年齢階層別純移動数

男女ともに進学や就職に伴って「10～14歳→15歳～19歳」、「15歳～19歳→20歳～24歳」、「20歳～24歳→25～29歳」で純減が顕著となっています。

